

2 年課題研究（人文科学課題研究Ⅰ・課題研究・課題探究Ⅱ）

「失敗」を評価するルーブリック

失敗の活かし方	研究に妥当性をもたす	具体的に考える	修正する	気づく
① テーマ、RQ 設定、仮設の軌道修正	テーマの問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、より具体的で <u>実現可能性</u> のあるものに修正できている。	テーマの問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、より具体的なものに修正できている。	テーマの問題点を把握し、より具体的なものに修正できている。	テーマの問題点を把握できていない。
② 研究手法、調査方法の再考	研究方法の問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、足りない視点や見落としを <u>修正する</u> ための具体的な調査研究を再考できている。	研究方法の問題点を把握し、足りない視点や見落としに <u>気づき</u> 、調査研究の再考ができている。	研究方法の問題点を把握し、足りない視点や見落としに <u>気づく</u> ことができている。	研究方法の問題点を把握できていない。
③ 分析・考察の再考	得られた情報から客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果に基づき、 <u>論理的</u> な主張ができている。	得られた情報から客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果に基づいた <u>主張</u> ができている。	分析した情報やデータの解析結果に基づいた <u>主張</u> ができている。	分析した情報やデータの解析ができていない。